

中央新幹線に関する勉強会報告書



日時 令和6年7月23日（火）10:00～11:00

場所 議場

テーマ リニア中央新幹線工事の進捗状況

瑞 浪 市 議 会

リニア・瑞浪恵那道路・新丸山ダム特別委員会

【勉強会概要】

講師	リニア中央新幹線工事の進捗状況 東海旅客鉄道株式会社 中央新幹線岐阜西工事事務所 担当課長 荒井 潤 副長 赤上 広生 担当 久米 史哉		
内容	1．工事の進捗 1）トンネル掘削の状況 2）その他の工事状況 2．大湫町における井戸等の減水 1）経緯 2）応急措置（上水道への切替、代替井戸等） 3）トンネル湧水への対応 4）計測データ、HP等での情報提供 3．トンネル発生土 1）クリーンセンター横仮置き場 2）市残土処分場（半原）		
日 時	令和6年7月23日（火） 10：00～11：00		
場 所	1）議場		
参加者	瑞浪市議会 第1回リニア・瑞浪恵那道路・新丸山ダム特別委員会、その他議員		
	委員長 辻 正之	副委員長 三輪田幸泰	棚町 潤
	小木曾光佐子	渡邊康弘	榛葉利広
	大久保京子	福永奏子	犬塚利彦
	奥村一仁	柴田幸一郎	樋田翔太
	成瀬徳夫	熊谷隆男	加藤輔之
	柴田増三		

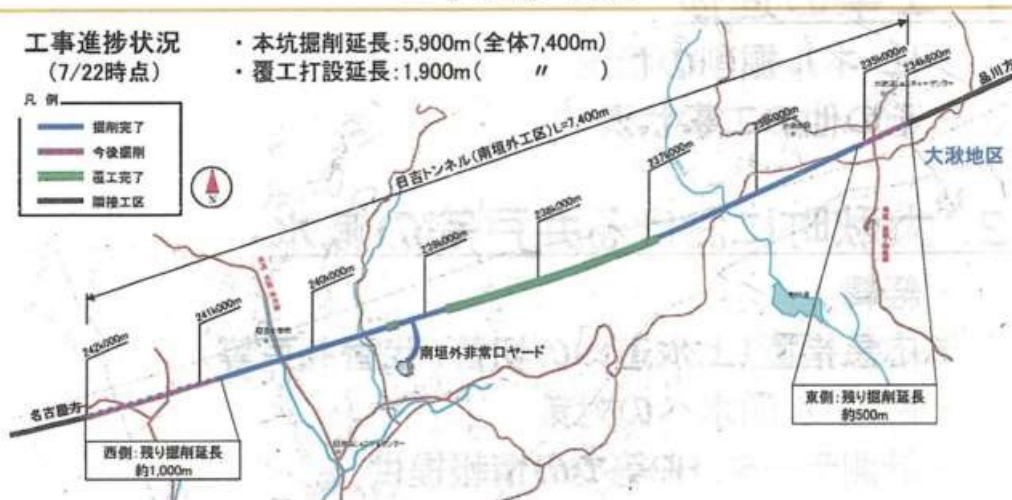
1.
工事の進捗

工事進捗状況

工事進捗状況 (7/22時点)

- ・本坑掘削延長: 5,900m (全体7,400m)
- ・覆工打設延長: 1,900m (")

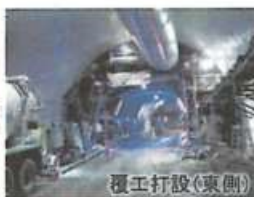
凡 例



掘削(西側)



インバート打設(西側)



覆工打設(東側)



注入作業(東側)

4

工事の進捗状況は本坑掘削延長が5,900mで全長7,400mです。コンクリート工事は1,900mまで終わっている。青い線が掘削をした範囲となっています。

東側の大湫方面では残りの掘削延長が500mです。

西側については1000mほど残っています。図の下の写真が工事の様子を示しています。

東側では現在工事が止まっている所に注入作業が行われています。

西側については、左側の写真のように掘削を続けています。またインバートとしてトンネルの下側の打設を行っている。

本坑東側は、大湫方面で青い部分の先端が切羽位置で赤い所が500mほど残っている。

大湫盆地の東側に校区境があります。

本坑西側は日吉町の白倉地区の掘削の状況で白倉川は土かぶり小さくトンネルと地面の間の小さい所です。そこは工事が終わりました。

その先はカコウ岩という固い岩が出ているので、ハッパをかけて工事を行っている。

2.

大湫町

における井戸等の減水

経緯

これまでの経緯

- 2月20日 当社設置の観測用井戸3箇所で水位低下傾向を確認
- 2月26日 地元の方の立会の下、共同水源を確認、5箇所のうち「清水水源」の枯渇を確認（同日、瑞浪市に報告）
- 3月10日 大湫盆地住民の総会で地元の方へ説明
共同水源の水位計測、水利用状況に関するアンケートを行うことなどを説明
- 4月中旬 「北組水源（井戸）」の水位低下傾向を確認
周辺の個人所有井戸の水位低下も把握
- 4月下旬 応急措置として上水道接続工事を開始（希望されたご家庭には6月3日に完了）
- 5月13日 大湫盆地にお住まいの方に対し、説明会を開催
応急対策の実施状況等を説明
- 5月29日 岐阜県環境影響評価審査会地盤委員会 ※その後、6月4日、24日、7月16日開催
これまでの当社の対応等について説明
- 6月10日 大湫町にお住まいの方に対し、説明会を開催 ※6月17日 神田区対象説明会
注入作業の進捗等を説明

8

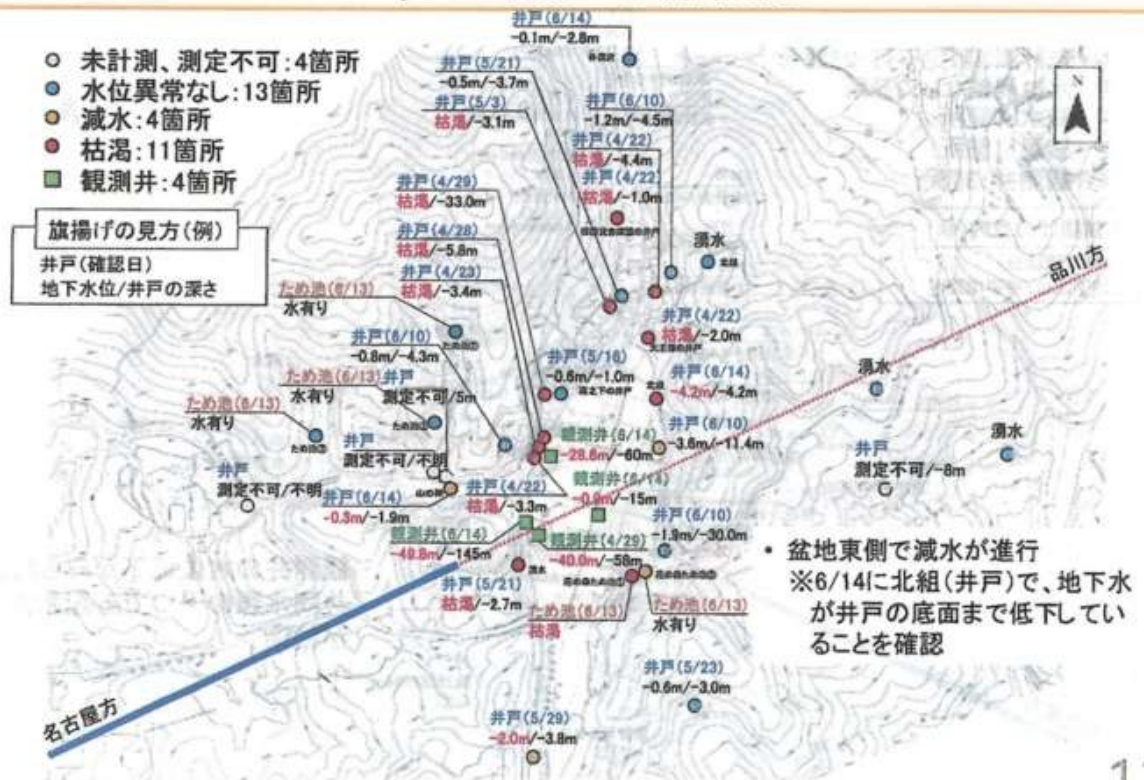
これまでの経緯・今後の取り組み

- 5月15日 水田地帯における地下水位低下がないことを確認するための新たな観測用井戸の掘削を開始 ※5/21より水位計測開始
- 5月20日 県審査会（意見聴取会）
地元のご不安と県・市の要請を踏まえ、現在地でトンネル掘削を一時中断
トンネル湧水を低減させるために一次注入開始
- 5月29日 県審査会（第1回）
- 6月4日 県審査会（第2回）
- 6月10日 大湫町全体に対し、説明会を開催
- 6月11日 二次注入開始
- 6月17日 神田区に対し、説明会を開催
- 6月24日 県審査会（第3回）
- 7月16日 県審査会（第4回）
- 今後... 給水槽の増設、代替水源として浅井戸・深井戸の設置
盆地付近で地質調査（ボーリング、電気探査）
トンネル切羽前方の地質確認のための水平ボーリング
※ 地元や県、市に説明後に実施予定

9

(上水道への切替、代替井戸等)

6/14時点の水源状況



- 盆地東側で減水が進行
※6/14に北組(井戸)で、地下水が井戸の底面まで低下していることを確認

12

井戸水位

トンネルの掘削は青い線で示してある所で止まっている。

清水水源の井戸の水位が-2.7mとなっている。

緑の点が J R の設置した観測井戸で-28m、-49m、-40m、-0.9m、の水位の低下が観測されている。

それ以外も青い所は水位の異常はありませんでした。

黄色の点は北組の井戸で減水している。

またはなのいため池で減水や枯渇が観測された。

左側の黄色いマークは山の神という共同水源の1つですが雨が降らないと水位がすこし低くなる。

トンネルの湧水量は4月中頃からふえてきています。その後落ち着いて毎秒20ℓぐらいの水が出ています。

5月20日以降にトンネル内の止水のため注入作業を開始していて少し水量が下がった傾向がみられるが雨の影響で水量が下がっているかはわからない。

共同水源については北組の井戸があり4月中ごろから水位が低下し始めて枯渇している。

応急措置 (上水道への切替、 代替井戸等)	応急措置として、井戸水等の減水が確認されたご家庭につきましては、上水道をご使用いただくための工事を実施している。 これに係わる工事費、水道課入費、維持管理費の増加分（水道料）はJ Rが負担する。 既に減水が確認された個人井戸を使用されているご家庭や、北組水源を使用されているご家庭においては、先行して個別に説明をしている。
恒久対策	トンネル工事完了後の状況を踏まえ、皆様のご意見を伺いながら恒久対策を実施する。 恒久対策については、概ね下記の内容を考えています。 ①井戸が復水した場合 応急措置として、一旦上水道への切り替えを実施したご家庭において、井戸水を再び使用いただけるように配管の復旧工事等を行います。 ②井戸が復水しない場合 代替施設として、上水道への切り替えを行います。 維持管理費の増加分（水道料、電気料等）を別途補償いたします。 ※応急措置では仮設の配管で切り替えさせていただき、恒久対策については、配管を埋設するなど本設とします。
3. トンネル発生土	クリーンセンター横仮置き場 昨年度、借地期間を1年間延長していただくこととなり、今年度中に原形復旧し、返却すべく現在搬出作業を進めている。 自然由来重金属等の検査についても、継続的に実施しているが、基準値以内となっている。 市残土処分所（半原） 昨年度、条例改正をしていただき、昨年12月から搬入を開始 現時点で約4,400m³を搬入済み

今後のスケジュール(クリーンセンター、市残土処分場)

項目	2024年										2025年		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
○クリーンセンター横仮置き場													
発生土搬出													
復旧作業 (仮囲い撤去等)													
検査・引き渡し													
○市残土処分場(半原)													
発生土搬入													

委員長所感

瑞浪市大湫町でリニア中央新幹線のトンネル掘削工事が原因とみられる共同水源などの水位低下が起きた問題を受け、リニア瑞浪恵那道路・新丸山ダム特別委員会で現地視察を行いました。

5月16日に大湫町地内井戸の水位の低下または枯渇の状況が発生していることから議員をはじめ、リニア瑞浪恵那道路・新丸山ダム特別委員会により現地視察を行い、天王様の井戸と清水水源の井戸が枯渇しているのを視察しました。リニア新幹線のトンネル掘削工事の影響で共同水源や井戸、ため池の水位低下が確認することができました。中山道宿場町の面影を感じさせる伝統的な家々や田畑を山が取り囲む自然豊かな地域でこのような事態になるとは思いませんでした。今後は大湫地区の地域の方々に寄り添った対応をしていただけるように市政に働きかけ地域住民の不安や不信感を払拭できるように求めていきたいと思いました。



天王様の井戸